

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として、多様な選択を生かし、主体的で充実した高校生活を通して自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

1. 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
2. とともに学び、ともに育つ学校生活の充実
3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

めざす生徒像

1. 21世紀をになう人
2. 知・徳・体の調和のとれた人
3. 時代の変化に対応できる人
4. 堺東高校から世界にはばたく人
5. 感性・創造性豊かな人

中期的目標（数値目標は、令和5年度に向けての予定です）

1 確かな学力の育成と授業改善

(1) 授業の充実と授業改善

ア 教員間における「授業見学」や研究授業の「研究協議」や生徒の「授業アンケート」を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」や1人1台のパソコン配備によるICTを活用した授業改善に取り組む。 ※授業アンケートにおける教材活用満足度をR5年度には88%とする。(H30:82%、R1:84%、R2:86%)

(2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上

ア 「総合的な探究の時間」の充実を図る。 ※総合学科アンケートにおける「コミュニケーション能力が身についた」R5年度には72%とする。(H30:74%、R1:72%、R2:65%)

(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

ア 「学力生活実態調査」の結果分析を踏まえ、基礎学力の定着を図る。 ※「学力生活実態調査」(1, 2年)におけるGTZの1年B2、2年B3を共にR5年度にはB2とする。(H30:[B2、B3]、R1:[B2、B3]、R2:[B2、B3])

イ 「一日勉強会」等の自主学習会を継続し自ら学ぶ意欲を高める。 ※学校教育自己診断における「学習に頑張ってきた」R5年度には75%とする。(H30:66%、R1:72%、R2:72%)

2 安全で安心な学校づくり

(1) 人権教育の推進(生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う)

ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進するとともに府内の高等学校における支援教育力の向上に貢献する。

イ いじめの早期発見・対応、体罰防止など、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。

(2) 教員の人権意識の高揚

ア 校内人権研修を通じて自らの人権感覚を高め、人権侵害のない学校づくりをめざす。

※教員の「学校教育自己診断」における『人権教育の校内研修や学習会は充実している』R5年度には77%とする。(H30:77%、R1:74%、R2:75%)

(3) 生徒の規範意識の醸成

ア インターネット等による人権侵害の防止や交通マナーを遵守する指導を徹底し、また薬物防止乱用教育に取り組む。

※生徒の「学校教育自己診断」における『生活指導上のルールを守っている』R5年度には94%とする。(H30:91%、R1:94%、R2:92%)

(4) 通学路の安全確保

ア 行政とともに学校周囲の歩道整備を計画し、地域の理解・協力も得ながら完成をめざす。

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

(1) キャリア教育の充実

ア 「総合的な探究の時間」「ホームルーム」「志学」等を通じてキャリア教育を充実する。

イ 保育所、病院、老人介護施設等へのインターンシップの充実を図り、それぞれの職業への理解を深める。

※生徒の「学校教育自己診断」のキャリア教育に係る満足度90%の維持(H30:87%、R1:90%、R2:90%)

「選択した科目で自分の進路選択につながるものが十分あった」の満足度R5年度には86%とする。(H30:82%、R1:86%、R2:80%)

(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加

ア 「部活動に係る基本方針」に則り、部活動を活性化すると同時に、適切かつ計画的な活動を図る。

※部活動入部率をR5年度には77%とする。(H30:80%、R1:77%、R2:72%)

イ 学校行事への積極的な参加により、満足度を高める。

※「体育祭」「文化祭」の満足度をR5年度には92%、91%とする。(H30:[92、93]、R1:[92、91]、R2:[一、83])

(3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

ア 部活動や授業において、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

※「自主性を伸ばすことが出来た」の満足度をR5年度には77%とする。(H30:75%、R1:77%、R2:74%)

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

(1) ホームページの充実

<p>ア 学校の情報をタイムリーに保護者・生徒に提供するとともに、外部に対して学校教育活動の周知を図る。 ※HP、校長ブログ等の更新を頻繁に行い情報の発信を行う更新回数を200以上とする。(H30:60回、R1:229回、R2:305回)</p> <p>(2) 学校説明会の充実</p> <p>ア 学校説明会、オープンスクール及び、ミニ見学会等の内容を参加者のニーズに合うよう充実させる。 ※各種説明会の参加総数前年度実績より伸ばす (H30:1300人、R1:1180人、R2:777人)</p> <p>(3) 緊急時の連絡手段の構築と活用</p> <p>ア 緊急時等における生徒・保護者・教職員の連絡手段の活用を図る。</p>

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R2年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「主体的、対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善、学びの保障</p> <p>(2) 相手に自分の考えを伝える</p> <p>(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養</p>	<p>(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、管理職の授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」、ICTを活用した授業改善に取り組むとともに感染症の発生時に家庭学習に取り組めるようICTを活用するなど学びの保障を行う。 イ・ICT機器等も活用した授業の工夫を進めるため、ICT機器等を利用できる教室整備を進める。</p> <p>(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。 イ・SDGs(持続可能な開発目標)の視点も踏まえて「総合的な探究の時間」を実施し、ポスターセッション等を通じて自分の考えを伝え、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざす。</p> <p>(3) ア・講習等で「学力生活実態調査」のやり直しを行い、基礎学力を定着させる。 イ・「1日勉強会」等に自ら参加する姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの「教材活用」における肯定的評価87% [86%]</p> <p>イ・学校教育自己診断における「授業の工夫」の肯定率95% [93%]</p> <p>(2) ア、イ ・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」において自分の考えをわかりやすく発表 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」68% [65%]</p> <p>(3) ア・「学力生活実態調査」のやり直し講習の実施 イ・「1日勉強会」等の参加者を前年度実績から増加させる。[399人] ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」74% [72%]</p>	

2 安全で安心な学校づくり	<p>(1) 人権教育の推進 ア 「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進</p> <p>イ 合理的配慮への取組み</p> <p>ウ 自立支援コースの成果の府内での共有</p> <p>(2) 教員の人権感覚や人権意識の育成 ア 人権研修の充実</p> <p>イ 教育相談体制の充実</p> <p>ウ いじめ防止</p> <p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p> <p>(4) 通学路の安全確保</p> <p>(5) 働き方改革</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施</p> <p>イ・生徒、保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。</p> <p>ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。</p> <p>(2) ア・テーマを替えた人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る</p> <p>イ・新型コロナウイルス感染症で様々なストレスにさらされている状況のもと、一人ひとりの心身の状況把握に努めるとともに組織的な教育相談体制を整え、全体で教育相談にあたる意識を醸成する。</p> <p>ウ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識と理解を深め、いじめについてどこにでも起こりうることに認識し「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む</p> <p>(3) ア・安全安心な学習環境の維持 イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに薬物乱用防止教育に取り組む</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。</p> <p>(5) ア・「働き方改革委員会」において働き方改革を進める</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流事業の科目数(6教科)とする。 ・ 支援学校との交流を1回実施 [0回]</p> <p>イ・ 支援を必要とする生徒への取組みを懇談会、連絡ノートで保護者と連絡を密にして継続し、把握に努める。 [懇談会1回、連絡ノート授業日ごと]</p> <p>ウ・ 要請をすべて承諾し、府内の高校の支援教育力の向上するため、他校の教員を集めて情報交換会・研修会を3回実施する。[3回]</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率77% [75%]</p> <p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率46% [43%]</p> <p>ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率維持 [81%]</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている94% [92%]</p> <p>イ・外部講師による情報モラル(SNS含む)、交通安全、薬物乱用防止指導それぞれ1回実施する。</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議の継続し、工事の設計まで進める。</p> <p>(5) ア・ 業務を整理するとともに働きやすい職場環境の整備に努める</p>	
------------------	---	---	---	--

<p>3</p> <p>夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携</p> <p>イ インターンシップの充実</p> <p>(2) ア 部活動の適切な運営と学校行事への積極的な参加</p> <p>(3) ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>(1) ア・生徒の進路実現に向け「産社」「志学」「総合的な探究の時間」「HR」等の連携を図るとともに「志学」において大学や専門学校へのオープンキャンパス等への積極的な参加などキャリア教育の充実を図る。また、地域の大学との連携を図る</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続</p> <p>(2) ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り生徒・教職員にとって適切な活動を進める。 ・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等の生徒が自主運営する行事の活性化</p> <p>(3) ア・地域小学校との交流の継続 イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度 83% [80%] ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度の維持 [90%] ・「進学(大学)に関するレポート」提出率 100% [-] イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続 [20名]</p> <p>(2) ア・体罰ゼロの継続 ・入部率の維持、伸長 [72%] ・「体育祭」「文化祭」の満足度 90% [体一文 83%] ・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート) 76% [74%]</p> <p>(3) ア・地域小学校との授業交流の継続 イ・地域のボランティア活動の継続 [24名]</p>	
<p>推 4</p> <p>進 開 と かれた 情 学校 報 づくり の 発信</p>	<p>(1) ア ホームページの活用</p> <p>(2) イ 学校説明会での情報発信</p>	<p>(1) ア・ホームページを活用し進路情報も含めた学校の情報の発信をするとともに緊急時情報発信への活用も行う。</p> <p>(2) イ・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等からの説明会に積極的に参加</p>	<p>(1) ア・ホームページ、ブログの更新を頻繁に行い情報の発信に努める。更新回数 200 [330]</p> <p>(2) イ・学校説明会等におけるアンケート実施 ・学校開催の説明会等参加者数の増加 [777名]</p>	